



岡山県農林水産部畜産課
課長 齊木 孝

年頭の挨拶

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。また、旧年中は県畜産行政の推進について御理解と御協力をいただき、心から御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、米の戸別所得補償制度が創設され、畜産においては宮崎県で口蹄疫が発生し、約29万頭の家畜が殺処分されるなど非常事態の中で、宮崎県はじめ全国からの派遣者の懸命な防疫活動により、8月27日には終息宣言がなされました。しかし、アジアを中心とした近隣諸国は口蹄疫などの家畜伝染病の発生が続いており、予断を許さない状況にあります。

また、飼料価格の高止まりや、長引く景気の低迷による消費の減退に加え、にわかに関太平洋戦略的経済連携協定（TPP）への参加が話題となり、国内農畜産業への多大な影響が懸念されています。

このような状況の中、新たな1年を迎え、関係者一丸となって乗り切ろうと決意を新たにいたしております。

県といたしましては、行財政構造改革のもとで効果的な事業を展開することとし、耕畜連携による稲ホールクroppサイレージなど自給飼料の増産、生産性の向上対策はもとより、地産地消を主体とする消費拡大対策や支援チームによる経営安定の指導

等を推進していくこととしております。

また、口蹄疫などの家畜伝染病に対しては研修会等を通じて、危機管理意識の高揚を図るとともに、防疫演習などにより大規模発生に備えた防疫体制の強化に努めているところです。農家の皆様におかれましても、消毒等の衛生管理を徹底し、今後とも発生防止に万全を期していただきますようお願い申し上げます。

さらに、第13回全日本ホルスタイン共進会が1年延期され、今年10月に北海道で、また、第10回全国和牛能力共進会が平成24年に長崎県で開催することとなり、両大会の成功に向け、皆様方の一層の御協力と御支援をよろしくお願い申し上げます。

なお、本年は平成32年度を目標とした、「岡山県酪農・肉用牛生産近代化計画」や「家畜改良増殖目標」の策定など、県畜産行政に係る重要な計画を策定することとなっておりますが、これらの計画に沿って今後、県内はもとより国内外に向けて岡山県の畜産を発信していく所存でありますので、関係機関の御理解と御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後に、皆様の御多幸と御健勝をお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。